FCP 食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会

第４回　外部環境変化に対応した食の安全・信頼への取組　議事概要

日時：平成 29 年 11 月 29 日（水）　14:00～18:00
場所：中央合同庁舎４号館 12 階　第 1219-1221 会議室
参加者：32 事業者・団体　計 39 名
議事次第：

１．開会挨拶
２．趣旨説明
３．講演
（１）「新たな外国人技能実習制度について」
厚生労働省人材開発統括官付海外人材育成担当参事官室　菊地 政幸　室長補佐
（２）「実例から見えてきた異文化コミュニケーションのコツ」
日本ハム株式会社　黄 文誼様
（３）「日本の少子・高齢化の現状と将来人口推計」
国立社会保障・人口問題研究所　石井 太様
４．グループディスカッション
５．閉会挨拶

議事概要：

第４回目の食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会では、事務局による趣旨説明の後、以下の講師より講演していただいた。

・「新たな外国人技能実習制度について」
厚生労働省人材開発統括官付海外人材育成担当参事官室　菊地 政幸　室長補佐
・「実例から見えてきた異文化コミュニケーションのコツ」
日本ハム株式会社　黄 文誼様
・「日本の少子・高齢化の現状と将来人口推計」
国立社会保障・人口問題研究所　石井 太様

講演後、食品に関係する過去の事案について振り返りを行った。続いて「外部環境変化の中での、食品安全・信頼向上における新たなリスクと取組」という論点で参加者に議論していただき、グループ毎に発表を行った。発表では、次のような意見があった。

【人口減少・少子高齢化によるリスク】

・人口減少・少子高齢化によるリスクが非常に大きい。そのリスクには、労働力人口の減少による人手不足、国内市場が縮小すること、ベテラン技術者の減少により技術と知識の継承ができなくなること等が考えられる。また、人手不足により、労働環境の悪化やフードテロが発生することも考えられる。さらに、国内市場が縮小することにより、国内生産が減少し、輸入品が増加することも考えられる。

・人手不足というリスクに対しては、外国人労働者と高齢者が活躍できる場をさらにつくる取組や、ICT 技術とオートメーション化による省力化への取組が考えられる。

・国内市場が縮小するリスクに対しては、輸出への取組や海外に拠点を移す等が考えられるが、その場合にも外国人とのコミュニケーションが重要になってくる。

・技術、知識の継承ができなくなるリスクに対しては、継承の仕組みづくりに社内で取組む必要がある。技術、知識等の継承が進まないと、過去と同じような事故が繰り返されることになる。

・高齢化が進むことにより、高齢者特有の事故・クレームが増加するリスクがある。食品表示を分かりやすくする等の取組が重要では。

・高齢化が進むことはリスクである一方、まだまだ働ける高齢者も多いので、高齢者が活躍できる場をさらにつくる等の取組が必要では。

【外国人労働者の増加によるリスク】

・外国人労働者が増加することにより、衛生管理等への考え方の違いから品質のばらつきが発生したり、お客様とのトラブルが増加する等のリスクが考えられる。講演で聞いたように、異文化を理解しコミュニケーションをしっかりとる等、外国人労働者がさらに活躍できるようになる取組が重要。

・外国人労働者の増加は、一方では外国人消費者の増加を意味する。外国人でも分かるような食品表示に取組むことも重要では。特に、アレルギーに関しては分かりやすいアイコンを活用する等の工夫も考えられる。

【SNS におけるリスク】

・SNS における炎上等のリスクも大きい。一番の対策は早期に発見し対応すること。また、逆に、SNS を積極的に活用して企業姿勢を発信することも重要である。

【物流におけるリスク】

・物流におけるリスクへの対応が、今後さらに重要になるのではないか。ネット通販においても、人手不足による製造のアウトソーシングにおいても、安全確保で重要になるのは物流である。物流における信頼性確保への取組が必要。

【まとめ、FCP 活動に対する提案】

・社内においても、社外においても、コミュニケーションが最も重要と考える。FCP でも、引き続きコミュニケーションについての勉強会開催を検討いただけないか。